

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人TICO

1 事業の成果

アフリカ・アジア地域で地球規模の課題に苦しむ人々の自立支援と持続可能な社会の構築を目指し事業を行った。

Covid 19 の世界的な流行が収束し渡航制限などもなくなり、海外での活動が本格化した。

ザンビア事業は2回の渡航、カンボジアは4回の渡航と1回の来日研修を行った。また、国内においては、昨年から開始したウクライナ難民支援のための無料医療相談を継続実施した。

詳細については下記のとおりである。

ザンビア医療協力事業

● 心臓血管外科手術技術移転事業

ザンビアの National Heart Hospital において心臓血管外科スタッフへの技術支援を行っている。

2017年8月に開始した当事業は、合計12回のザンビアでの現地活動と3回の本邦研修を行った。事業開始当初はザンビア大学付属教育病院での活動であったが、第8回活動から活動場所を National Heart Hospital へ移し、より臨床実践へと変わっている。

具体的な活動内容としては、「年間50例の心臓血管外科手術をザンビア人だけで施行できるようになる」という目標のもと、ザンビアに医師、看護師、臨床工学技師といった専門家を派遣し、現地スタッフの手術、術後管理などの業務を一緒に遂行することで技術協力を行っている。当事業は当初5年、2022年末までの予定であったが、コロナウイルス感染症によるパンデミックのため2年以上活動を休止せざるを得ない期間があったため、延長して活動を行っている。2023年度には2回の現地活動を行っている。

・第11回活動 2023年6月23日から7月7日まで

1例の心房中隔欠損閉鎖手術、2例の僧帽弁置換手術2例の計3例の麻酔、手術、人工心肺操作、手術の直接介助、術後ICU管理、病棟管理に指導的助手として立ち合い、毎日、活動内容の評価表を作成し、現地スタッフと共有した。活動の最後にはレビュー会議を行った。

また、手術に先行して、3日間にわたり、看護師のための教育プログラムを実施、心電図の読影、心電図モニターの実施、冠動脈造影の読影、心機能の評価法、冠動脈バイパス術などについて講義を行い、さらに、手術室看護師が手術手順を覚えやすくするために豚の心臓を用いて、手術の練習を行った。

派遣者:医師3名、看護師3名、臨床工学技士3名、調整員1名

・第12回活動 2023年11月29日から12月3日まで

1例の心房中隔欠損閉鎖手術、1例の複雑心奇形の根治手術、3例の僧帽弁置換手術、1例の大動脈弁置換手術の計6例の麻酔、手術、人工心肺操作、術後ICU管理、病棟管理

に主導的助手として立ち合い、毎日、活動内容の評価表を作成し、現地スタッフと共有した。

最後にはレビュー会議を行った。今回の僧帽弁置換手術には、右開胸で僧帽弁交連切開術後の再手術症例を2例含んでおり、これが初めての再開胸手術症例となった。手術に際し、人工心肺装置の安全性を向上させるため、麻酔モニターと術野モニターを人工心肺装置に設置し、運用を始めた。

派遣者:医師3名、臨床工学技士2名、調整員1名

カンボジア医療協力事業

- JICA 草の根技術協力事業「カンボジアの救急医療に係わる研修コース・試験制度の構築と市民への応急処置の普及事業(平成29年度補正/平成30年度採択)」

カンボジアの北西部、バタンバン州で JICA 草の根技術協力事業を2022年9月から実施している。

この事業は高松市(自治体)が提案団体、TICOが実施団体、バタンバン州保健局がカウンターパートで、「カンボジアの救急医療に係わる研修コース・試験制度の構築と市民への応急処置法の普及事業」として3年間実施するものである。

今年度は派遣4回、来日研修1回を実施し、計画通りに事業を進めている。

来日研修で育成したインストラクター候補が帰国後にBLS研修を実施したり、TICO 渡部医師による研修実施の際にアシスタントとして活躍したりと、自信と自覚を持ち活動するようになった。来日研修で培われた信頼関係により事業もスムーズに進行するようになった。特に、1月の現地研修の際に、保健局長が閉会式のスピーチで「TICO は技術指導してくれる団体。これまで、救急医療に関してここまで腰を据えて支援してくれる組織はなかった。支援先から何か資機材をもらおうとか、お金を出してもらおうと考えるのではなく、しっかり技術を教えてもらい、TICO が撤退した後も継続できるように取り組んでいこう」と語ったことから、当事業への姿勢と現地の期待が伺える。

【派遣】

① 2023年4月23日～4月30日

医師・看護師を対象にしたトレーニングを実施したほか、バタンバン州の各病院をまわって資機材の配備状況を確認した。

派遣者:医師 高磯氏、新田(プロジェクトマネージャー 以下プロマネと表記)

② 2023年8月20日～8月26日

車外救出などの手技をいくつか実習したほか、現場から救急車までの搬送のデモンストレーションや救急車からコールがあり、病院に到着してから処置までの流れを動画で紹介した。

派遣者:高松市消防局 救急救命士 一二三氏/松本氏、岡山大学病院高度救命救急センター クリティカルケア認定看護師 三橋氏、新田(プロマネ)

③2024年1月18日～1月24日

派遣者:技術専門家 渡部医師、新田(プロマネ)

④2024年3月20日～3月28日

一般市民に正しい応急処置法を広めるため、事業期間中1万人以上対象を目標にワークショップを実施する予定である。そこでインストラクターとなる人材育成を実施した。

派遣者:新田(プロマネ)

【来日研修】 11月5日～11月18日

バタンバン州保健局局长をはじめとした保健局の管理職3名と医師4名を日本に招き研修を実施した。

★カンボジア事業について、TICO季刊ニュースレターFace to Face(61号)2024年新春号のP4～8で特集している。来日研修の詳細はP7を参照。

ウクライナ支援事業

● 日本国内の避難民への無料医療相談事業

日本に避難してきたウクライナ人への支援として、当会の強みを活かしホームページをとおしてウクライナ語対応の無料医療相談を継続実施し、合計4件の相談があり受診の必要がある方へは医療機関の紹介を行ない受診することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
生活向上の機会を著しく奪われている人々の問題解決への協力事業	ザンビア医療協力事業 ・心臓手術の研修および実施によるOJT	年2回	ザンビア ルサカ市	7人	ザンビア共和国 National Heart Hospital /住民2千人	10,811
	カンボジア医療協力事業 ・JICA草の根技術協力事業 カンボジアの救急医療に係わる研修 コース・試験制度の構築と市民への応 急処置法の普及事業	年5回	カンボジア 共和国 バタンバン州	7人	バタンバン州 医療従事者 及び 住民3万人	13,820
	ウクライナ支援事業 ・ウクライナ避難民支援 ・日本国内の避難民への無料医療相談	通年	日本国内	3人	ウクライナ避難民 2000人	171
国内での開発教育に関する事業	広報活動 ・季刊誌の発行 ・ホームページ ・facebookの更新	年1回 年1回 通年	事務局	5人	日本国内の支援者 300人	58
	地球人育成事業 ・地球人カレッジ ・講演会	年1回 年3回	事務局	3人	徳島県民300名 日本国内の支援者 100名	0

他の市民活動を行う団体の運営または活動に関する連絡, 相談, 助言等の事業	他の市民活動を行う団体との共同支援活動, 他の市民活動を行う団体への相談, 助言	随時	事務局	1人	他の市民活動を行う団体(約20団体)	0
	事務局運営(管理費)	通年	事務局	1人	全事業対象者	682

(2)その他の事業

実施した事業はありません。